

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年8月18日(2011.8.18)

【公開番号】特開2011-133987(P2011-133987A)

【公開日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-027

【出願番号】特願2009-291077(P2009-291077)

【国際特許分類】

G 06 F 3/041 (2006.01)

G 06 F 3/045 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/041 3 3 0 H

G 06 F 3/045 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月15日(2011.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一方の面に上部透明電極(5)を有する上部透明電極基材(1)と、

前記上部透明電極が配置された面に対向する面に下部透明電極(6)を有する下部透明電極基材(2)と、

前記上部透明電極と前記下部透明電極との間に配置されかつ複数の感圧粒子(7)を分散含有する絶縁性の透明接着層(3)とを備えて、

前記上部透明電極基材の他方の面に力が作用すると、作用する力で、前記透明接着層内の前記感圧粒子間で電流が流れることにより前記上部透明電極と前記下部透明電極との間で導通が行われ、前記上部透明電極基材の前記他方の面沿いの、前記力が作用した位置座標を検出するとともに、

前記上部透明電極と前記下部透明電極のそれぞれの周囲の外側でかつ前記上部透明電極と前記下部透明電極のそれぞれからの配線(5a, 6a)が配置されている額縁部(11)に、レジスト層(8)を前記上部透明電極基材と前記下部透明電極基材にそれぞれ配置し、前記上部透明電極基材側のレジスト層と前記下部透明電極基材側のレジスト層との間に前記透明接着層が配置されている、タッチパネル。

【請求項2】

前記上部透明電極基材の他方の面に力が作用すると、作用する力により、前記透明接着層内の前記感圧粒子間で電流が流れることにより前記上部透明電極と前記下部透明電極との間での抵抗値が変化し、前記力の大きさの変化を検出するZ方向検出部(21)をさらに備える、請求項1に記載のタッチパネル。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の前記タッチパネルと、

前記タッチパネルを支持する筐体と、

前記筐体内の前記タッチパネルの内側に配置される表示装置とを備える、携帯機器。